

名古屋城

「名古屋城」は、徳川家康によって尾張の要として名古屋に築られました。築城には、加藤清正や福島正則をはじめ多くの大名が分担し、石垣も造られました。石垣の石は、近くは篠島、遠くは九州や瀬戸内海などから船で熱田まで運ばれ、名古屋城まで引いて行かれたそうです。このように築城のときから「熱田」は名古屋城にかかわってきました。

第9回の展示は、それぞれの時代ごとに魅せてきた名古屋城の彩（いろど）りをご覧になってください。



▲ なごや鯨三題



▲ 「日本三名城」より
名古屋城

展示替え：平成25年10月1日（火）から

開設時間：区役所開庁時間

無料 ご自由にご鑑賞ください

場 所：熱田区歴史資料展示コーナー
（区役所1階）

問 合 せ：熱田区役所まちづくり推進室

TEL683-9425

（福島コレクションについて）

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年の歳月を費やして収集された約1200点もの熱田を中心とした貴重な歴史資料（錦絵、地図等）です。昭和59年6月の熱田社会教育センター（現 熱田生涯学習センター）の開館にあたり、名古屋市（熱田社会教育センター）に寄贈されたものです。（熱田区歴史資料展示コーナーについて）

熱田区歴史資料展示コーナーは、平成22年11月に開設し、熱田区歴史資料ボランティア（代表 周防有彦さん以下10名）の皆さんの活動により運営されています。